

令和 8 年 10 月 23 日
愛 媛 大 学

『愛大シネマ多様性フォーラム』公開映画上映・講演会(全6回)を開催

愛媛大学法文学部多様性研究会では、このたび『愛大シネマ多様性フォーラム』公開映画上映・講演会を開催します。このイベントは、多様性研究会のメンバーが、それぞれの専門やSDGsの視点から選定したドキュメンタリー映画を、無料で公開上映するとともに、関連の講演を行うものです。上映作品は10月『おだやかな革命』、11月『草間彌生∞INFINITY』、12月『シード～生命の糧～』、1月『森を織る。』、2月『バベルの学校』3月は講演のみ（ものがたりするこゑー絵巻と古典）です。

これにより、未来社会のあるべき姿や、芸術家の生き方、食文化と工業化、自然との共生、多文化共生社会の実現や、伝統文化の理解など、あらためてSDGsの価値や、世界の現状、未来について、市民と共に考える契機とすることを目的に実施致します。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願いいたします。

記

日 時：令和 8 年 10 月 31 日（土）から令和 9 年 3 月 6 日（土）まで
毎月 1 回、指定の土曜日 13 時 30 分～17 時 00 分

場 所：愛媛大学城北キャンパス 共通講義棟 B 4 F
アクティブ・ラーニングルーム 2（松山市文京町 3 番）
（開場：13 時 00 分）

対 象：一般（中学生以上）

定 員：毎回 80 人

参加費：無料

参加申込方法：事前申し込み 不要

駐車場：無

公共機関のご利用をお願い致します。市電「赤十字病院前」から徒歩 5 分。

主 催：愛媛大学 人文学会

共 催：法文学部 多様性研究会

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学法文学部多様性研究会

諸田龍美

TEL：090-7629-5343

Mail：morota.tatsumi.mf@ehime-u.ac.jp

※送付資料 4 枚（本紙を含む）

講演内容：

【第1回】令和8年10月31日(土)

「エネルギーの多様性を目指す地域社会の実践と課題」

講師：朝井 志歩（愛媛大学法文学部 教授）

映画：『おだやかな革命』（2017年 日本 100分）

【第2回】令和8年11月28日(土)

「日本の枠を超えた女性美術家たちー草間彌生と小野洋子」

講師：野村 優子（愛媛大学法文学部 准教授）

映画：『草間彌生∞INFINITY』（2018年 アメリカ 77分）

【第3回】令和8年12月19日(土)

「種子はぜ失われるのか？」

講師：山本 與志隆（愛媛大学法文学部 教授）

映画：『シード～生命の糧～』（2016年 アメリカ 94分）

【第4回】令和9年1月23日(土)

「生命を織る服ー自然と共に生きる」

講師：諸田 龍美（愛媛大学法文学部 教授）

映画：『森を織る。』（2025年 日本 65分）

【第5回】令和9年2月6日(土)

「『違い』を受け入れるー複言語・複文化主義の理念」

講師：柳 光子（愛媛大学法文学部 教授）

映画：『バベルの学校』（2013年 フランス 89分）

【第6回】令和9年3月6日(土)

「ものがたりするこゑー絵巻と古典」

講師：西 耕生（愛媛大学法文学部名誉教授）

愛大シネマ 多様性 フォーラム

講演会
＋
映画上映
＋
交流会

場所：愛媛大学城北キャンパス 共通講義棟B4F
アクティブ・ラーニングルーム 2

日時：毎月土曜日 13:30 開始（開場 13:00）

構成：講演 45 分＋映画上映＋交流会（希望者）

参加費：無料（事前申し込み不要）

問合せ：法文学部・諸田龍美 morota@ehime-u.ac.jp

※ 上映時間は映画作品により異なります

※ 第6回は90分の講演のみです

※ 各回の内容は変更となる場合があります

愛大シネマ多様性フォーラム 映画 プログラム

第1回：2026.10.31（土）13:30-

講演題目：「エネルギーの多様性を目指す地域
社会の実践と課題」

講師：朝井志歩（愛媛大学法文学部 教授）

映画：『おだやかな革命』（2017年、日本、
100分）

概要：この映画は、福島第一原発事故をきっかけに不安や怒りや恐怖や疑問を感じた日本各地の人々が、自分たちの手で「エネルギー自治」に取り組む姿を紹介しています。成長・拡大を求める経済のあり方とは違う、それぞれの地域の「幸せな経済」を生み出し、未来を変えようとする、おだやかな革命の物語です。



第3回：2026.12.19（土）13:30-

講演題目：「種子はなぜ失われるのか？」

講師：山本與志隆（愛媛大学法文学部 教授）

映画：『シード〜生命の糧〜』（2016年、
アメリカ、94分）

概要：この映画では、20世紀の間に野菜の種子の94%が消滅したという事実が示され、世界の種子がいかに急速に失われているかが描かれています。気候変動や農業の工業化に加えて、多国籍企業による種子市場の独占が大きな要因と考えられますが、この映画を通して食と文化の多様性がもつ意味について改めて考えてみたいと思います。



第5回：2027.02.06（土）13:30-

講演題目：「『違い』を受け入れる——複言語・
複文化主義の理念」

講師：柳 光子（愛媛大学法文学部 教授）

映画：『バベルの学校』（2013年、フラン
ス、89分）

概要：多様なルーツと背景をもつ移民の子どもたちがフランス語を習得するために通う「受け入れクラス」の1年間を追ったドキュメンタリー映画を通して、多文化共生社会の実現に向けたフランスの移民政策や言語政策、近年日本でも注目されている「ヨーロッパ言語共通参照枠」等について解説します。



第2回：2026.11.28（土）13:30-

講演題目：「日本の枠を超えた女性美術家たち
——草間彌生と小野洋子」

講師：野村優子（愛媛大学法文学部 准教授）

映画：『草間彌生∞INFINITY』（2018年、
アメリカ、77分）

概要：世界の美術館が個展の開催を望み、多くの観客を惹きつける草間彌生。彼女は家父長制の根強い日本を飛び出し、NYに活動の場を見つけた。成功者のイメージが強いが、そこへと至る道程は決して平坦ではなかった。今年8月に逝去した彼女を追悼する意味で、草間芸術の特徴や世界に愛される理由をともに考えましょう。



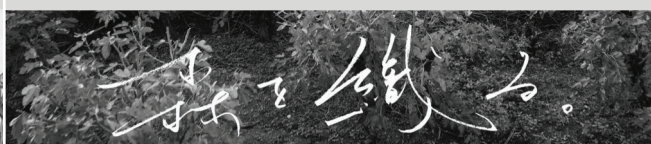
第4回：2027.01.23（土）13:30-

講演題目：「生命を織る服——自然と共に生きる」

講師：諸田龍美（愛媛大学法文学部 教授）

映画：『森を織る。』（2025年、日本、65分）

概要：森や里山の恵みの中で、古くから日本人は自然界のすべてに感謝しながら文化を育んできた。そうした風景は現代文明の中で喪われつつあるが、織物の産地の中に、それを守ろうとする人々によって、残されていた。生命の重なりによって紡がれる絹織物づくりを追った映画を通して、環境や伝統文化の保全について考えたいと思います。



第6回：2027.03.06（土）13:30-

講演題目：「ものがたりするこゑ——絵巻と古
典」

講師：西 耕生（愛媛大学名誉教授）

講演時間：90分（※ 映画上映はありません）

概要：国宝『源氏物語絵巻』をはじめ、平安時代の古典作品をビジュアル化しようとした絵巻物等を媒介としながら、原典を解釈・鑑賞します。

